

平成31年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 京都社会事業財団	代表者	野口雅滋	法人・ 事業所の 特徴	事業所の理念【「思い」「暮らし」「絆」を支援する】を職員全員が共有し実践できる体制を構築し、利用者の「思い」の実現に向けた支援を目指しています。事業所は長年、地域の人々に親しまれた集会場を改修し併設され、地域福祉の拠点となっています。地域行事等、地域の住民協働による活動に積極的に参画し、地域との繋がりを大切に事業運営をしています。
事業所名	京都厚生園松尾の家	管理者	志田彰大		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	3人	1人	1人	1人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	「これまでの暮らし」や「大切にされていること」等を聞き取り、介護計画の目標に繋げ支援する。	個々の利用者に対して「私の支援マップ」を作成している。「これまでの暮らし」や「大切にされていること」に着目し、実現できることを提供することができている。	利用者のこれまで大切にしてきたこと、続けて行きたいことなど、家族にとって気づかないことを大切にしてもらえることは本当にありがたい。	利用者自身が「したい→してみる→できる」を意識し、まずは「したい」ことを具体的に把握し、実践できることの共有を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者に迷惑が掛からないよう配慮し、定期的なメンテナンスや修理が必要な物について、計画的に改善に向けて随時対応していく。	空調機器の清掃、植木の剪定について、計画的に実施。家電製品などについては適宜、修理を依頼し行ったが、高所清掃が実施できていない。	事業所内のしつらえについて、不快な臭いや音は感じていない。ボランティアの方から、スリッパの管理について問い合わせがあった。	事業所内の吹き抜け部分の窓など、高所清掃、外付けのエアコンの清掃を業者依頼する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々に事業所について知っていただくため、ブログの更新を定期的に行う。地域の各種団体と一緒に活動する機会を持つ。(地域ケア会議、認知症サーポーター養成講座、小中学校での地域行事に参加)。	ブログの更新は定期的に行う。松尾小学校の生徒との交流会や「ちびっこ交流会」等、世代間交流を通じて地域の方々に事業所を知ってもらおう機会を作っている。	近隣住民の子供が夜間、両親が不在で不安となり事業所を訪ねて来るがあった。事業所に来る機会があった経過から馴染みの場所となり、子供の見守りなど、地域の福祉施設としてありがたい。また「喫茶まつのを」は毎回30名程の参加者があり大盛況。定期的に「松尾の家」に来る機会となり、馴染みの居場所になっている。	利用者が地域で暮らすために松尾の家と地域(かかりつけ医・近隣住民・民生委員・学区社協・商店等)の連携が具体的に利用者・家族にも見えるようにする。地域の行事や催しへの参加の機会を持ち利用者の馴染みの地域での暮らしを職員が知る機会を持つ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	「私の支援マップシート」を適宜追記し、小規模だけで完結しないよう地域資源を活用した支援を検討する。	入所施設から在宅復帰された独居利用者について、顔馴染みのマンションの管理人や住民へ働きかけ、見守りを中心とした支援、協力を依頼した。	ボランティアの方から地域の気になる方について相談があり、現在も見守り支援を継続している。	単に情報を書き込むだけでなく、地域のどこか、誰か、どのように支えてくれるのか、本人が頼りにしているのは誰かを見える情報を共有する機会(個別地域ケア会議)を持つ
E. 運営推進会議を活かした取組み	利用者、家族の運営推進会議参加を促し、日常生活の困りごとなどを抽出する機会を持つ。	家族の参加の促しを積極的に実施。参加人数は少なかったが、実親の若い頃の話をはじめ、今後どのような介護サービスが主流となるか等、率直な意見を聞くことができ、当事業所の運営を振り返る機会に繋がっている。	各自自治体や事業者の活動等、地域の取り組みを聞く良い機会になっているので参加しやすい。	利用者と家族の参加を積極的に促し利用者の地域での新たな役割や困りごとの相談の機会を持つ。
F. 事業所の防災・災害対策	停電を想定した訓練の実施及びマニュアルの見直し、アクションカードの整備をする。	アクションカードの作成には至らなかったが、消防隊員より停電時の備えについて相談する機会を作った。	先日の台風の際、松尾学区の一部でもまる一日停電した地域があった。最近は停電することが少ないため、大変不自由な思いをした。	停電を想定したマニュアルの見直し、アクションカードの整備を徹底する。

事業所自己評価・ミーティング様式	ミーティング実施日	1回目:令和1年12月17日(火曜日) 17:30~19:00 2回目:令和1年12月24日(火曜日) 17:30~19:00
------------------	-----------	--

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	1回目:久保 松浦 佐藤 横山 平田 池田 2回目:久保 松浦 山内 竹中 岡崎 大東 勝見
-------------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	11	0	0	13

前回の改善計画	【目標】新規利用開始前の情報収集とケアの統一を、職員間で情報共有し実施する。 【計画】 ①効率的に情報収集できるように、面接時に聞き取りシートなどを家族や地域の協力を得ながら作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果	面接時に家族へ「自宅での暮らし」「これまでの暮らし」等を聞き取り、フェイスシートへに記載し、初回利用開始前までに職員間で情報共有を図ることができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	12	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	11	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	2	0	13

できている点	ミーティングを通じて、新規利用者の心身の状況について職員間で共有を図り、関わり方について適宜、検討している。事業所に慣れない時期については、安心して頂けるように座席を工夫。また休息の取り方など、ご利用者に合わせて職員が声かけをし、他者との関係づくりと、小規模の暮らしの中での目標や役割を積極的に実施している。 新規利用開始1か月後に、ケア・カンファレンスを開催し、小規模多機能型居宅介護計画の見直しを実施している。
--------	--

できていない点	新規利用者家族に対しての支援として、介護支援専門員を中心に利用時の様子などをお伝えし、安心していただけるように働きかけている。送迎時に他の専門職による積極的な働きかけも増えつつあるが、体制上職員間での個人差はある。 新規利用者について心身の状態や自宅での過ごし方について、思いや大切にしていることを利用開始時までに情報を深めるのは難しいため、日々の気づきを大切に課題を共有する必要がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	【目標】新規利用開始前の情報収集とケアの統一を、職員間で情報共有し実施する。 【計画】期間:12か月 ①効率的に情報収集できるように、面接時に使用する「聞き取りシート」を作成する。 ②「聞き取りシート」をもとに、利用者の心身の状態について職員間で共有し、利用開始前に必要な支援について検討する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	ミーティング実施日	1回目:令和1年12月17日(火曜日) 17:30~19:00 2回目:令和1年12月24日(火曜日) 17:30~19:00
------------------	-----------	--

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	1回目:久保 松浦 佐藤 横山 平田 池田 2回目:久保 松浦 山内 竹中 岡崎 大東 勝見
--------------------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	1	12	0	13

前回の改善計画
【目標】誕生日に利用者の願いを聴き、一つでも叶える取り組みを考える。 【計画】期間:12ヵ月 ①今できていること、大切にしていることを知って、継続できることを考える。やってみたいことへのアプローチを一緒に考える。
前回の改善計画に対する取組み結果
誕生日に利用者の願いや思いを聞き取り、実現可能な支援を実施したが、利用者全員を対象とした支援、継続性のある支援ができていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	11	2	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	11	2	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	12	1	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	12	1	0	13

できている点
利用者の目標については、ケア・カンファレンスを通じて定期的に再確認している。目標に向けた支援ができるように、介護計画書を定期的に見直している。また利用者個別ファイルを作成し、随時、職員が介護計画書を閲覧できるよう情報共有も図っている。支援マップを作成し、利用者の願いや思いを聞き取り、実現可能な支援を検討している。

できていない点
日々のミーティングについては、ご利用者の心身における課題に目を向け検討することが多く、生活の質の向上に向けての取組みを検討する機会は少ない。また支援マップを作成しているが、実現した事例が少なかった。

次回までの具体的な改善計画
【目標】利用者の願いを聴き、一つでも叶える取り組みを考える。 【計画】期間:12ヵ月 ①今できていること、大切にしていることを知って、継続できることを考える。やってみたいことへのアプローチを一緒に考える。

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング実施日	1回目:令和1年12月17日(火曜日) 17:30~19:00 2回目:令和1年12月24日(火曜日) 17:30~19:00
-----------	--

3. 日常生活の支援

メンバー	1回目:久保 松浦 佐藤 横山 平田 池田 2回目:久保 松浦 山内 竹中 岡崎 大東 勝見
------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1	10	2	0	13

前回の改善計画	【目標】家族等の協力を得ながら、「自宅での生活」について情報収集し、これまでの生活の継続性を支援する。 【計画】期間:12か月 ①「これまでの暮らし」や「大切にされていること」等を聞き取り、プランの目標に繋げ支援する。 ②気づいたこと、聞き取った新しい情報を経過記録に残し情報の共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	随時、「私の支援マップ」を活用して、利用者の「これまでの暮らし」や「大切にされていること」等を聞き取り、日常生活上の支援に繋げている。また職員の「気づき」についても経過記録に残して情報共有が図れている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10 個以上把握できていますか?	0	4	8	1	13
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8	2	0	13
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	8	5	0	0	13
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8	3	0	13
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	4	1	0	13

できている点	利用者の気持ちや体調の変化を記録化して職員間で情報共有を図っている。また日々のミーティングを通じて、事業所での日中の過ごし方や職員の関り方、宿泊時の居室環境の設定など、利用者個々の状態に応じた基本的な介護の見直が図れている。
--------	--

できていない点	利用者の住み慣れた自宅での生活が継続できるように、「できる能力」を活用したケアの提案や提供が充分とは言えない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	【目標】本人を知る人からの協力も得ながら、「自宅での生活」について情報収集し、これまでの生活の継続性を支援する。 【計画】期間:12か月 ①「これまでの暮らし」や「大切にされていること」等を聞き取り、プランの目標に繋げ支援する。 ②気づいたこと、聞き取った新しい情報を経過記録に残し情報の共有を図る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング実施日	1回目:令和1年12月17日(火曜日) 17:30~19:00 2回目:令和1年12月24日(火曜日) 17:30~19:00
-----------	--

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	1回目:久保 松浦 佐藤 横山 平田 池田 2回目:久保 松浦 山内 竹中 岡崎 大東 勝見
------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	10	3	0	13

前回の改善計画	<p>【目標】家族等から「以前の暮らし方」について積極的に情報収集し、利用者の地域での暮らしや活動に繋げていく。</p> <p>【計画】期間:12か月</p> <p>①家族等に協力を得て「私の支援マップシート」を作成し、身近で支援したり、心配してくれる方々の存在を把握する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>家族等、本人を知る人からの情報について知り得た内容は、経過記録以外に「私の支援マップ」にも記載しているが、身近で支援している方々へ積極的な働きかけはできていない。</p>

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	3	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	8	3	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	4	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4	5	4	0	13

できている点	<p>私の支援マップによる情報収集、回想法を用いたレクリエーションなどを通じて、本人の生活スタイルやこだわりを把握し、大切に支援できるように職員間で意識している。尚、これまで利用していた馴染の美容院や電気屋、商店等を把握し、利用する機会は増えている。また行事やボランティアを通じて、地域との繋がりが切れることのないように支援している。</p> <p>10月に家族会を実施し、「以前の暮らし方」や家族の心境の変化等を聞かせていただき、理解を深めることができたと同時に、必要な支援について検討する機会となった。</p>
--------	---

できていない点	<p>利用者の「以前の暮らし」について、家族(後見人)など、これまで利用者に関わってきた方から情報を収集する機会は増えたが、「以前の暮らし」「人間関係」など、すべてを把握することは難しく、必要な情報は「何か」を精査することも必要。</p> <p>地域行事について、松尾学区については把握しているが、嵐山東学区、松陽学区については把握できず参加できていない。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】家族等から「以前の暮らし方」について積極的に情報収集し、利用者の地域での暮らしや活動に繋げていく。</p> <p>【計画】期間:12か月</p> <p>①家族等に協力を得て「私の支援マップシート」を作成し、身近で支援したり、心配してくれる方々の存在を把握する。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング実施日	1回目:令和1年12月17日(火曜日) 17:30~19:00 2回目:令和1年12月24日(火曜日) 17:30~19:00
-----------	--

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	1回目:久保 松浦 佐藤 横山 平田 池田 2回目:久保 松浦 山内 竹中 岡崎 大東 勝見
------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	7	0	0	13

前回の改善計画	【目標】地域の見守り支援や訪問配食サービス、など、地域のサービスの実態把握を行う。 【計画】期間:12か月 ①利用者の強みをスタッフ間で共有して、必要な支援とその量について協議し、経過と変化を記録する。
前回の改善計画に対する取組み結果	独居利用者の入所施設からの移行で在宅復帰に向けた支援を実施したケースがある。成年後見制度を活用し、保佐人との連携を図りながら、近隣住民の見守り支援、配食サービス、時には民間業者との連携も図りながら現在も在宅生活を継続している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	8	5	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	11	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	8	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	8	0	0	13

できている点	緊急時など即時的に「訪問」「宿泊」「通い」のサービスを提供するなど、事業所におけるサービスについては柔軟な支援ができています。医療的視点が必要な時は事業所の看護職員の訪問を実施。また主治医や訪問看護など、本人を支援する関係機関との連携を図っている。
--------	--

できていない点	訪問体制が強化され、日中に関しては本人の状況、状態に応じて「通い」から「訪問」へ切り替えるなど、柔軟な支援ができていますが、事業所が提供できる支援として、夕方以降は「宿泊」のみに限られている状況は変わらず。利用者の支援を家族と事業所だけで解決してしまう傾向は強いが、医療的ケアの必要性が高い利用者の宿泊について、「レスパイト入院」を活用した事例があった。地域にある機能や他施策を合わせた支援を今後も検討する必要がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	【目標】地域の見守り支援や訪問配食サービス、など、地域のサービスの実態把握を行う。 【計画】期間:12か月 ①利用者の強みをスタッフ間で共有して、必要な支援とその量について協議し、経過と変化を記録する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	ミーティング実施日	1回目:令和1年12月17日(火曜日) 17:30~19:00 2回目:令和1年12月24日(火曜日) 17:30~19:00
------------------	-----------	--

6. 連携・協働	メンバー	1回目:久保 松浦 佐藤 横山 平田 池田 2回目:久保 松浦 山内 竹中 岡崎 大東 勝見
----------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	8	2	0	13

前回の改善計画	<p>【目標】利用者の暮らしを支えるために、小規模だけで抱え込まない。</p> <p>【計画】期間:12か月</p> <p>①地域の各種団体と一緒に活動する機会を持つ。(地域ケア会議、認知症サポーター養成講座に参加)</p> <p>②「私の支援マップシート」を作成して、適宜追記記載していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>毎年開催されている地域の「子供祭り」において、その実行委員会の協力を得ながら、利用者が主体となり地域の子供たちに向けた催しを提供することができ、利用者の社会活動への参加や、役割づくりなどに繋げる取組みが実施できた。</p>

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	9	1	1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	6	1	2	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	4	7	1	1	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	6	1	1	13

できている点	<p>学校行事や町内会のイベントには利用者を含め参加している。また世代間交流など地域住民を招待する事業所の行事も定期的実施している。近隣住民の子供が、夜親が不在で相談に来られることもあった。</p> <p>事業所としては「高齢者見守り支援及び行方不明高齢者発見のネットワーク」への登録など、利用者の暮らしの中の課題において、必要に応じて地域包括支援センターとの連携、他の医療機関や関係機関との連携、情報共有に努めている。</p>
--------	--

できていない点	<p>地域ケア会議、認知症サポーター養成講座など、地域包括支援センターの会議に参加しているが、地域密着事業として「地域づくり」に貢献している実感は薄い。地域包括支援センターからの利用相談や新規紹介は増えているが、自治体や地域からの相談、紹介は少なかった。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】利用者の暮らしを支えるために、小規模だけで抱え込まない。</p> <p>【計画】期間:12か月</p> <p>①地域の各種団体と一緒に活動する機会を持つ。(地域ケア会議、認知症サポーター養成講座等に参加)</p> <p>②「私の支援マップシート」を作成して、適宜、追記記載していく。</p>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	ミーティング実施日	1回目:令和1年12月17日(火曜日) 17:30~19:00 2回目:令和1年12月24日(火曜日) 17:30~19:00
------------------	-----------	--

7. 運営	メンバー	1回目:久保 松浦 佐藤 横山 平田 池田 2回目:久保 松浦 山内 竹中 岡崎 大東 勝見
-------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	2	10	1	13

前回の改善計画	<p>【目標】地域連携による会議の内容等について職員間で共有を図り、職員一人ひとりが運営に参画する意識を高める。</p> <p>【計画】期間:12か月</p> <p>①職員会議にて報告する機会、及び報告書が閲覧できるように回覧物BOXを作る。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>事務所内に職員回覧BOXを作成したが、職員個人による閲覧に留まった。必要事項については職員会議にて検討する機会を設定するなどの工夫をした。</p>

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	7	3	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	9	1	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	1	0	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	10	2	0	13

できている点	<p>満足度調査を年1回実施。利用者のケア、業務に関する内容については、随時、職員間で意見交換ができている。職場環境等についても職員間で検討、改善策を講じて運営する場面は多い。子ども祭りや松尾小学校との交流会、地域の福祉祭り、同じ建物中にある地域の集会場の運営会議等は定例で参加している。地域の福祉拠点として周知する機会を図っている。</p>
--------	---

できていない点	<p>地域行事や地域活動を掲示したり、小規模部会など外部の会議や研修に参加した場合、すべて報告書を作成し、適宜、閲覧できるようにしているが、職員全員へ必要な事項を周知できていない。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】地域に必要とされる拠点を目指す。</p> <p>【計画】期間:12か月</p> <p>①地域行事、地域の活動に積極的に参加し、地域の声を聴く機会をもつ。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	ミーティング実施日	1回目:令和1年12月17日(火曜日) 17:30~19:00 2回目:令和1年12月24日(火曜日) 17:30~19:00
------------------	-----------	--

8. 質を向上するための取組み	メンバー	1回目:久保 松浦 佐藤 横山 平田 池田 2回目:久保 松浦 山内 竹中 岡崎 大東 勝見
-----------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	8	0	13

前回の改善計画	<p>【目標】訪問援助でのリスクについて担当者中心に意識的に取り組み、スタッフ全員で情報を共有する。</p> <p>【計画】期間:12か月(頻度:適宜)</p> <p>①外部研修、小規模部会に現場職員が参加し、情報共有の機会を持つ。</p> <p>②訪問での予測されるリスク、予防的対応を全スタッフが共有する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>一般職員による、小規模部会への参加を実施。他事業所の見学、取り組みに触れる機会ができた。</p> <p>訪問で予測されるリスクについての研修は実施できなかったが、日々のミーティングを通じて、援助内容や方法については周知が図れている。</p>

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	7	2	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	6	1	1	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	5	6	1	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	7	2	0	13

できている点	<p>職場内研修は全員参加で実施。園内研修については内容に応じて参加職員を指示、必要に応じて伝達講習を実施している。事故・ひやりはっと・苦情報告書を活用し、リスクマネジメントにも積極的に取り組み、サービスの質の向上に繋げている。</p> <p>訪問援助の具体的な援助方法について研修を実施した。個別の訪問援助計画についても適宜、追記修正を実施し、職員間で周知して活用できている。</p>
--------	---

できていない点	<p>訪問援助の具体的な援助方法について研修を実施したが充分とは言えず、継続してスキルアップが必要。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】訪問援助でのリスクについて担当者中心に意識的に取り組み、スタッフ全員で情報を共有する。</p> <p>【計画】期間:12か月</p> <p>①外部研修等に現場スタッフが参加できるように、研修計画を作成する。</p> <p>②訪問援助技術について部署内研修を実施し、チームのスキルアップを図る。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

ミーティング実施日	1回目:令和1年12月17日(火曜日) 17:30~19:00 2回目:令和1年12月24日(火曜日) 17:30~19:00
-----------	--

9. 人権・プライバシー

メンバー	1回目:久保 松浦 佐藤 横山 平田 池田 2回目:久保 松浦 山内 竹中 岡崎 大東 勝見
------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	2	0	13

<p>前回の改善計画</p> <p>【目標】個人情報適切に取り扱う。松尾の家の「介護ルール」を遵守する。 【計画】期間:12か月(頻度:2回/年) ①パソコンにある個人情報の取扱いについて、マニュアルの見直し及び周知徹底。 ②松尾の家「介護ルール」が遵守できるように自己評価を実施し課題を抽出。課題についてはチームで改善案を検討し実践に繋げる。</p> <p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <p>個人情報の取扱いについて研修を実施したが、主にパソコンの「松尾の家共有フォルダ」の使用状況が煩雑になっている状況が改善できていない。 松尾の家「介護ルール」について自分自身を振り返る研修を実施。適宜、ルールの修正、追記も実施している。</p>
---

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	1	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	5	8	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	7	1	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	8	0	0	13

<p>できている点</p> <p>身体拘束廃止マニュアルを整備。日々の業務の中でご利用者の意思に沿った支援ができるように努めている。定期的に人権擁護に関する研修も実施。不適切なケアを提供していないか、職員間で確認する機会を設定している。</p>
--

<p>できていない点</p> <p>個人情報の取扱いについて研修を実施。事業所内の管理について、主にパソコンの「松尾の家共有フォルダ」の使用状況が煩雑になっている状況がある。</p>
---

<p>次回までの具体的な改善計画</p> <p>【目標】個人情報適切に取り扱う。松尾の家の「介護ルール」を遵守する。 【計画】期間:12か月 ①パソコンにある個人情報の取扱いについて、マニュアルの見直し及び周知徹底。 ②松尾の家「介護ルール」が遵守できるように自己評価を実施し課題を抽出。課題についてはチームで改善案を検討し実践に繋げる。</p>
---